

臨床研修プログラム

—令和6年度版—

東北医科薬科大学病院

I.プログラムの目的と特徴:

医師免許取得後の初期2年間で、東北医科薬科大学病院において学修成果基盤型の研修を行いながら社会的ニーズに適合した全人的医療が実践できる臨床医師に必要な知識、技能、態度の基礎を確立することを目的とする。

全てのコースを通して、日本医学会が提案する初期臨床研修修了時点の「期待される医師像」、「医学教育コンピテンス」及び東北医科薬科大学病院オリジナルコンピテンス(学習アウトカム)である「東北地方の安心を支える医療・福祉」を取り入れ、多様な各研修医のニーズに応えることができるものとした。

そのコンピテンスの基に、研修医の到達目標をわかりやすくしたコンピテンシーを設けた。

東北医科薬科大学病院初期研修コンピテンス(学習アウトカム)

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と問題対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム医療の実践
6. 医療の質と安全の管理
7. 社会における医療の実践
8. 科学的探究
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
10. 自律的学習能力
11. 東北地方の安心を支える医療・福祉

研修目標:良好な患者医師関係を構築しつつ社会的ニーズを勘案した全人的医療が実践できる臨床医師に必要な知識、技能、態度の基礎を習得すること。

II.プログラムの参加施設:

- i) 基幹型病院 東北医科薬科大学病院
- 協力型臨床研修病院 東北医科薬科大学 若林病院(内科、外科、救急部門、産婦人科、一般外来)
- 東北大学病院(外科、産婦人科、精神科、救急科他)
- 仙台医療センター(小児科、産婦人科)
- 石巻市立病院(一般外来、地域医療)
- 登米市立登米市民病院(内科、外科、救急科、一般外来、地域医療)
- 南三陸病院(一般外来、地域医療)
- 公立刈田総合病院(一般外来)
- 仙台オープン病院(内科、外科、救急科、麻酔科)
- 仙台徳洲会病院(内科、外科、救急科、麻酔科)
- JCHO 仙台病院(内科、外科、救急科他)
- 総合南東北病院(内科、救急科)
- 東北労災病院(内科、外科、整形外科)
- 福島県立医科大学附属病院(救急科)
- 帯広第一病院(内科、救急科、麻酔科)

	菅間記念病院(内科、救急科、一般外来)
臨床研修協力施設	医療法人社団爽秋会岡部医院仙台(地域医療)
	仙台往診クリニック(地域医療)
	登米市立米谷病院(一般外来、地域医療)
	登米市立豊里病院(一般外来、地域医療)
	塩竈市立病院(一般外来、地域医療)
	宮城利府掖済会病院(一般外来)
	女川町地域医療センター(一般外来、地域医療)
	涌谷町町民医療福祉センター(一般外来、地域医療)
	古川星陵病院(地域医療、一般外来)
	栗原市立栗駒病院(地域医療)
	菅間在宅診療所(地域医療)

ii) プログラムに参加する診療科・部

内 科 系: 総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、糖尿病代謝内科、
腎臓内分泌内科、脳神経内科、感染症内科、血液・リウマチ科

外 科 系: 呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肝胆膵外科

そ の 他: がん治療支援(緩和)科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、
小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、
病理診断科、救急科、麻酔科、検査部

III. 研修プログラムの管理運営体制:

本研修プログラムの管理運営は東北医科薬科大学病院臨床研修管理委員会(以下研修管理委員会)と東北医科薬科大学病院卒後研修支援センター(以下卒後研修支援センター)とで行う。

研修管理委員会の構成は

病院長、卒後研修支援センター長(プログラム責任者)、副センター長(プログラム責任者)、
センター員、事務部長、看護部長、外部委員、指導医のうち特に病院長が指名する若干名とする。

卒後研修支援センターの構成は

卒後研修支援センター長、卒後研修支援センター副センター長、センター員、事務担当者とする。

研修管理委員会は

- i) 卒後研修支援センターからの報告を検討し、承認あるいは、問題点を指導し再検討させる
- ii) 研修指導者の採否の決定
- iii) 研修終了時の評価と研修修了証の交付
- iv) その他、を行う

卒後研修支援センターは

- i) 研修プログラムの作成及び詳細カリキュラムの検討
- ii) 研修スケジュールの調整
- iii) 研修の進行状況の確認
- iv) 研修の評価
- v) その他、を行い、研修管理委員会へ報告し、承認を受ける

IV.各コースの名称および概要

i)プログラムの名称:東北医科薬科大学病院臨床研修プログラムA(標準コース)

- プログラム責任者:

東北医科薬科大学病院 室谷 嘉一 (腎臓内分泌内科、卒後研修支援センター副センター長)

- 2年コースとし、募集定員は12名とする。

- 研修期間は、令和6年4月1日～令和8年3月31日までの24ヶ月間とする。

- 臨床研修を行う分野

【必修科目】

・内科研修は、自院消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・糖尿病代謝内科・血液リウマチ科、感染症内科・腎臓内分泌内科・腫瘍内科・総合診療科もしくは協力型病院で24週研修する。

・救急部門研修は、自院救急科または東北医科薬科大学若林病院・東北大学病院・仙台徳洲会病院・仙台オープン病院・登米市立登米市民病院・JCHO 仙台病院・総合南東北病院・福島県立医科大学附属病院・帯広第一病院・菅間記念病院で12週研修する。

そのうち4週を上限として麻酔科での研修を救急部門の研修期間とすることができる。

・地域医療研修は、協力型病院または協力施設で研修する。

・外科研修は、自院消化器外科・肝胆膵外科・呼吸器外科・心臓血管外科もしくは協力型病院で4週研修する。

・小児科研修は、自院または仙台医療センターで4週研修する。

・産婦人科研修は、自院または東北大学病院・仙台医療センターで4週研修する。

・精神科研修は、自院または東北大学病院で4週研修する。

・一般外来研修は、自院総合診療科での並行研修、東北医科薬科大学若林病院・登米市立登米市民病院の内科および外科での並行研修、菅間記念病院の内科での並行研修、石巻市立病院・登米市立登米市民病院・南三陸病院・登米市立米谷病院・登米市立豊里病院・塩竈市立病院・女川町地域医療センター・涌谷町町民医療福祉センター・古川星陵病院での地域医療との並行研修、あるいは、公立刈田総合病院の内科・小児科、宮城利府掖済会病院の内科・外科で4週研修する。

[選択科目]

選択科目は自院での研修を主とするが、希望により協力型病院での研修も可とする。

・選択科目は、自院総合診療科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腫瘍内科・糖尿病代謝内科・腎臓内分泌内科・脳神経内科・感染症内科・がん治療支援(緩和)科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺内分泌外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・肝胆膵外科・精神科・

血液リウマチ科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・

放射線科・病理診断科・救急科・麻酔科・検査部または東北医科薬科大学若林病院の内科・外科・救急部門・産婦人科、東北大学病院の循環器内科・腎高血圧内分泌科・血液内科・

リウマチ膠原病内科・糖尿病代謝科・加齢老年病科(老年科・加齢核医学科)・漢方内科・心療内科・

呼吸器内科・腫瘍内科・脳神経内科・総合診療科・総合外科・心臓血管外科・呼吸器外科・

脳神経外科・総合外科(小児外科)・産婦人科(産科・婦人科)・精神科・整形外科・形成外科・救急科・

麻酔科・緩和医療科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉頭頸部外科・肢体不自由リハ科・てんかん科・

内部障害リハ科・高次脳機能障害科・放射線治療科・放射線診断科・検査部・病理部、

仙台医療センターの小児科・産婦人科、仙台徳洲会病院の内科・外科・救急科・麻酔科、

仙台オープン病院の内科・外科・救急科、登米市立登米市民病院の内科・外科・救急部門、JCHO 仙台病院の内科・外科・救急科・産婦人科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・麻酔科・小児科、総合南東北病院の内科・救急科、東北労災病院の内科・外科・整形外科、帯広第一病院の内科・救急科・麻酔科、菅間記念病院の内科・救急科・麻酔科で研修する。

・研修期間は、基幹型臨床研修病院での研修は 52 週以上、協力施設での研修は 12 週以内とすること。

・到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

◇スケジュール(一例として)

	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W
1 年目	東北医科薬科大学病院												
	総合診療科		選択科目	【必修】 内科						【必修】 救急部門			
2 年目	東北医科薬科大学病院					協力型病院・施設			東北医科薬科大学病院				
	選択科目				【必修】 小児	【必修】 外科	【必修】 地域医療・ 一般外来		【必修】 精神	【必修】 産婦	選択科目		

ii) 東北医科薬科大学病院臨床研修プログラムB(地域たすき掛けコース)

- プログラム責任者：
東北医科薬科大学病院 北沢 博（小児科、卒後研修支援センターセンター員）
- 2年コースとし、募集定員は18名とする。
- 研修期間は、令和6年4月1日～令和8年3月31日までの24ヶ月間とする。
- 臨床研修を行う分野

【必修科目】

・内科研修は、自院消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・糖尿病代謝内科・血液リウマチ科、感染症内科・腎臓内分泌内科・腫瘍内科・総合診療科もしくは協力型病院で24週研修する。

・救急部門研修は、自院救急科または東北医科薬科大学若林病院・東北大学病院・仙台徳洲会病院・仙台オープン病院・登米市立登米市民病院・JCHO 仙台病院・総合南東北病院・福島県立医科大学附属病院・帯広第一病院・菅間記念病院で12週研修する。

そのうち4週を上限として麻酔科での研修を救急部門の研修期間とすることができる。

・地域医療研修は、協力型病院または協力施設で研修する。

・外科研修は、自院消化器外科・肝胆膵外科・呼吸器外科・心臓血管外科もしくは協力型病院で4週研修する。

・小児科研修は、自院または仙台医療センターで4週研修する。

・産婦人科研修は、自院または東北大学病院・仙台医療センターで4週研修する。

・精神科研修は、自院または東北大学病院で4週研修する。

・一般外来研修は、自院総合診療科での並行研修、東北医科薬科大学若林病院・登米市立登米市民病院の内科および外科での並行研修、菅間記念病院の内科での並行研修、石巻市立病院・登米市立登米市民病院・南三陸病院・登米市立米谷病院・登米市立豊里病院・塩竈市立病院・女川町地域医療センター・涌谷町町民医療福祉センター・古川星陵病院での地域医療との並行研修、あるいは、公立刈田総合病院の内科・小児科、宮城利府掖済会病院の内科・外科で4週研修する。

[選択科目]

選択科目は自院での研修を主とするが、希望により協力型病院での研修も可とする。

・選択科目は、自院総合診療科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腫瘍内科・糖尿病代謝内科・腎臓内分泌内科・脳神経内科・感染症内科・がん治療支援(緩和)科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺内分泌外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・肝胆膵外科・精神科・血液リウマチ科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・救急科・麻酔科・検査部または東北医科薬科大学若林病院の内科・外科・救急部門・産婦人科、東北大学病院の循環器内科・腎高血圧内分泌科・血液内科・リウマチ膠原病内科・糖尿病代謝科・加齢老年病科(老年科・加齢核医学科)・漢方内科・心療内科・呼吸器内科・腫瘍内科・脳神経内科・総合診療科・総合外科・心臓血管外科・呼吸器外科・脳神経外科・総合外科(小児外科)・産婦人科(産科・婦人科)・精神科・整形外科・形成外科・救急科・麻酔科・緩和医療科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉頭頸部外科・肢体不自由リハ科・てんかん科・内部障害リハ科・高次脳機能障害科・放射線治療科・放射線診断科・検査部・病理部、仙台医療センターの小児科・産婦人科、仙台徳洲会病院の内科・外科・救急科・麻酔科、仙台オープン病院の内科・外科・救急科、登米市立登米市民病院の内科・外科・救急部門、JCHO 仙台病院の内科・外科・救急科・産婦人科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・麻酔科・小児科、総合南東北病院の内科・救急科、東北労災病院の内科・外科・整形外科、帯広第一病院の内科・救急科・麻酔科、菅間記念病院の内科・救急科・麻酔科で研修する。

・研修期間は、基幹型臨床研修病院での研修は52週以上、協力施設での研修は12週以内とすること。

・到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

◇スケジュール(一例として)

	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W
1年目	東北医科薬科大学病院					協力型病院							
	総合診療科			選択科目	【必修】 救急部門			【必修】 内科					
2年目	東北医科薬科大学病院						協力型病院・施設		東北医科薬科大学病院				
	選択科目	【必修】 外科	【必修】 精神	【必修】 小児	【必修】 産婦	選択科目		【必修】 地域医療・ 一般外来	選択科目				

iii) 東北医科薬科大学病院臨床研修プログラムC(小児産婦人科コース)

- プログラム責任者：
東北医科薬科大学病院 酒井 啓治（産婦人科、卒後研修支援センター副センター長）
- 2年コースとし、募集定員は4名とする。
- 研修期間は、令和6年4月1日～令和8年3月31日までの24ヶ月間とする。
- 臨床研修を行う分野

【必修科目】

- ・内科研修は、自院消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・糖尿病代謝内科・血液リウマチ科、感染症内科・腎臓内分泌内科・腫瘍内科・総合診療科もしくは協力型病院で24週研修する。
- ・救急部門研修は、自院救急科または東北医科薬科大学若林病院・東北大学病院・仙台徳洲会病院・仙台オープン病院・登米市立登米市民病院・JCHO 仙台病院・総合南東北病院・福島県立医科大学附属病院・帯広第一病院・菅間記念病院で12週研修する。
そのうち4週を上限として麻酔科での研修を救急部門の研修期間とすることができる。
- ・地域医療研修は、協力型病院または協力施設で研修する。
- ・外科研修は、自院消化器外科・肝胆膵外科・呼吸器外科・心臓血管外科もしくは協力型病院で4週研修する。
- ・小児科研修は、自院または仙台医療センターで4週研修する。
- ・産婦人科研修は、自院または東北大学病院・仙台医療センターで4週研修する。
- ・精神科研修は、自院または東北大学病院で4週研修する。
- ・一般外来研修は、自院総合診療科での並行研修、東北医科薬科大学若林病院・登米市立登米市民病院の内科および外科での並行研修、菅間記念病院の内科での並行研修、石巻市立病院・登米市立登米市民病院・南三陸病院・登米市立米谷病院・登米市立豊里病院・塩竈市立病院・女川町地域医療センター・涌谷町町民医療福祉センター・古川星陵病院での地域医療との並行研修、あるいは、公立刈田総合病院の内科・小児科、宮城利府掖済会病院の内科・外科で4週研修する。

[選択科目]

選択科目は自院での研修を主とするが、希望により協力型病院での研修も可とする。

- ・選択科目は、自院総合診療科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腫瘍内科・糖尿病代謝内科・腎臓内分泌内科・脳神経内科・感染症内科・がん治療支援(緩和)科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺内分泌外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・肝胆膵外科・精神科・血液リウマチ科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・救急科・麻酔科・検査部または東北医科薬科大学若林病院の内科・外科・救急部門・産婦人科、東北大学病院の循環器内科・腎高血圧内分泌科・血液内科・リウマチ膠原病内科・糖尿病代謝科・加齢老年病科(老年科・加齢核医学科)・漢方内科・心療内科・呼吸器内科・腫瘍内科・脳神経内科・総合診療科・総合外科・心臓血管外科・呼吸器外科・脳神経外科・総合外科(小児外科)・産婦人科(産科・婦人科)・精神科・整形外科・形成外科・救急科・麻酔科・緩和医療科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉頭頸部外科・肢体不自由リハ科・てんかん科・内部障害リハ科・高次脳機能障害科・放射線治療科・放射線診断科・検査部・病理部、仙台医療センターの小児科・産婦人科、仙台徳洲会病院の内科・外科・救急科・麻酔科、

仙台オープン病院の内科・外科・救急科、登米市立登米市民病院の内科・外科・救急部門、JCHO 仙台病院の内科・外科・救急科・産婦人科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・麻酔科・小児科、総合南東北病院の内科・救急科、東北労災病院の内科・外科・整形外科、帯広第一病院の内科・救急科・麻酔科、菅間記念病院の内科・救急科・麻酔科で研修する。

・研修期間は、基幹型臨床研修病院での研修は 52 週以上、協力施設での研修は 12 週以内とすること。

・到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

◇スケジュール(一例として)

	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W	4W
1 年目	東北医科薬科大学病院												
	【必修】 産婦 または小児	総合診療科		【必修】 内科						【必修】 救急部門			
2 年目	東北医科薬科大学病院						協力型病院・施設		東北医科薬科大学病院				
	選択科目				【必修】 小児 または 産婦	【必修】 外科	【必修】 地域医療・ 一般外来		【必修】 精神	選択科目			

【オリエンテーション】

4 月の 1～2 週は初期臨床研修への導入を円滑に行うため、医の倫理、病院理念、研修の目的、接遇、患者権利、インフォームドコンセント、医療経済、医療過誤、医療効率、保険診療、院内感染対策、院内諸規定、施設案内、オーダリングシステム、処方箋の書き方、カルテ記載法、チーム医療、保存カルテの閲覧方法、図書室利用法、文献検索方法、救急処置法、患者診察法、医療面接についてのオリエンテーションを講義または実習形式で実施する。

【勉強会等】

全医師を対象とした各種研修行事(スキルアップセミナー、CPC、症例検討会)、各科および関連共催の検討会などには非配属科にあっても積極的に参加しなければならない。また、研修医のための勉強会を定期開催する。また、年に 1～2 回程度経験した症例の発表を行う。

V.指導体制：

各科ごとに指導責任者を置く。日常の指導は上級研修医や専門医が直接指導する。

PG-EPOC及び研修評価表を用い自己評価と指導医、コメディカルスタッフによる評価を行う。

VI.研修評価：

研修期間中の評価は形成的評価をもって行うことが重要であり、各研修医の研修内容を改善することを主な

目的とする。各研修医および指導医は「臨床研修の到達目標」に記載された個々の項目について研修医がどの程度履修したか随時記録を行う。

指導医は定期的に研修の進捗状況を把握、評価を行い、各研修医が修了基準に不足している部分を研修できるように配慮するとともに、結果を研修医にも知らせ、研修医、指導医間で評価を共有し、より効果的な研修へとつなげる。

VII.プログラム修了の認定:

研修修了時の評価は総括的評価をもって行い、各研修医の臨床研修修了の判断を行う。プログラム責任者は卒後研修支援センターと研修の修了認定の可否についての評価を行う。評価は、研修実施期間の評価、臨床研修の目標の達成度評価、臨床医としての適性の評価に分けて行い、全てにおいて基準が満たされた時に修了と認める。これらの結果を研修管理委員会に報告し、研修管理委員会が修了を認定する。認定された研修医には、研修管理委員会から研修修了書を交付する。

VIII.プログラム修了後のコース

東北医科薬科大学病院各領域の専門研修プログラム等。

IX.研修医の処遇:

i) 常勤・非常勤の別:常勤

ii) 給与:給与規定による

条件	月額	賞与
1年次生	¥327,100	年2回
2年次生	¥339,800	年2回

* 副直手当は時間外勤務として、職員給与規定に基づき支給

* 時間外手当・休日手当有り

iii) 基本的な勤務時間:8:30~17:15(休憩時間1時間)時間外勤務有り

iv) 休 暇:有給休暇(1年次15日、2年次16日)

年末年始 12月29日~1月3日

V) 当直業務:2ヶ月目から月数回の救急センター業務(副直)を担当し、正日当直者のもとで指導を受ける。

vi) 宿 舎:単身用64戸有り

vii) 社会保険・労働保険:公的医療保険(私学共済)

公的年金保険(私学共済)

労働者災害補償保険法の適用有り

雇用保険有り

viii) 健康管理:健康診断 年1回

ix) 医師賠償責任保険:病院において加入する。個人加入は任意とする。

X) 外部の研修活動:学会、研修会等への参加を奨励、参加費用の補助有り

xi) 院内保育所:有り 開所時間8:00~19:00(病児保育無し・夜間保育有り)

保育補助:ベビーシッター・一時保育等利用時の補助無し

体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所:休憩場所有り・授乳スペース無し

研修医のライフイベントの相談窓口:有り(専任担当無し)

各種ハラスメントの相談窓口:学内相談員、外部相談員(専任担当無し)

xii) アルバイトは原則禁止とする

X. 募集要項

i) 応募締切 : 令和5年8月4日(金)[予定]

ii) 応募手続 : マッチングに参加登録の上

- 履歴書(臨床研修医エントリーシート)
- 最終学校の卒業見込み証明書または卒業証明書
- 最終学校の成績証明書(第3, 4, 5学年分)
- 共用試験 CBT と OSCE の成績表(写)を提出

iii) 選考方法 : 面接、小論文

IV) 面接日 : 令和5年8月18日(金)[予定]

V) 申込み・問合せ先: 〒983-8512 仙台市宮城野区福室1-12-1

東北医科薬科大学病院 卒後研修支援センター

